



# 新社長

1941年に創業した銅合金鑄鍛造メーカー。自動車や鉄鋼産業向けに溶接電極を手がけるほか、国際通信を支える光海底ケーブルや航空機など決して失敗が許されない分野に高品位な素材を供給する。

3代目の萩野源次郎社長は先代の茂雄氏の次男。今年に入りバトンを受けた。「銅合金を世界に提供し社会貢献することが当社の使命。そのために縦横無

尽に駆け回りたい。當 大切にしており花王、野を支えてきた。業が動きやすい土壌作 大学時代の絆は今も公 約30億円。今後3カ年で3割増となる40億円 攻。花王で柔軟剤など 他社が嫌がる仕事、難 とが目標だ。経常利益 率に5〜10%を安定的 不況に喘いだ99年、30 動きの速さを生かし少 現行の事業基盤を維持

## 航空機向け素材拡大

し積極的に技術をP R。ここ数年中国などで受注実績を積んだ。昨年には航空関連の品質規格で欧米でも通 じるJIS Q9100 を取得。「今年に入り 欧州大手の航空機で、 新造機の素材として採 用された」と 笑顔を見せ 現在ではアル ミ青銅の素材が中心だ が、今後は摺動性や耐 磨耗性に優れる黄銅系 の合金を供給する。さ らなる新合金での新規 顧客の開拓も視野に入 れており「足元売り上 げの5%を占める航空 分野を今後は10%以上 に高める」と前を見据 える。 従業員には積極果敢 な営業、それを支える

## 大和合金 萩野 源次郎氏

存じを傍観できない。 量、高難度のニーズに 何とかしなければ」と きめ細かく応える。課 機向けの出荷を増や の思いで転身。大和合 題をひたむきにクリア す」方針。

金に入社した。研究者 しながら「まず大和に、 航空機分野で主力の 時代から培ってきたハ として次も大和にと思 円筒形の素材を足回り ドワーカーふりは今 ってもらえることが大 の軸受け材として拡販 も健在。社員からは 事」と表情を引き締め する。これまでは国内 「いつ寝ているのか」 る。弛まぬ努力で磨い の整備関連の商いが中 と不思議がる声も。人 た技術はF1カーや新 心だったが、アジアや エネルギーなど先端分 欧州での展示会に参加

(古瀬 唯)

**略歴**  
萩野 源次郎氏 (はぎの・げんじろ) 94年上智大学大学院理工学研究科修了、花王入社ハウスホールド研究所、99年大和合金入社、10年宇都宮大学大学院博士後期課程修了、13年社長。

